

令和3年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 鶴見小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度「子どもが安心して成長できる安全な学校の実現」の年度目標は、目標を達成したことを示すB評価であった。また「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」の年度目標においても、B評価であった。コロナ禍の中でも感染予防をしっかり行い、創意工夫することによって本年度目標達成のための取り組みにおいては、目標を上回って達成できたA評価の取り組みもあった。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現 B評価
<p>道徳の授業、生活指導研修会、児童理解研修会や子どもの実態の情報交換を学校全体で定期的に取り組んだ結果、いじめの解消は100%であったということは評価できる。今後もしっかり取り組んでほしい。</p> <p>コロナ禍の中で不登校になる児童が増えたので、区役所等とも引き続き連携を取り、頑張ってもらいたい。</p> <p>日常の様々な場面において、可能な限り工夫して体験活動ができていた。</p>
年度目標：心豊かに力強く息抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上 評価できず
<p>学力経年調査の結果より高学年ほど結果が良くなっているのも、それは今までの積み上げがあつてのことなので、先生の頑張りが結果に出ていると思う。</p> <p>取組内容4の指標がAになっているのはすばらしい。ICT機器を頻繁に使用しているようなので、今後も継続してほしい。</p> <p>「全国体力・運動能力・運動習慣調査」での課題であった長座体前屈の記録をみれば、男子は昨年度よりも下がっているが、全国の数値よりも上回っているのも、成果が出ているのではないかなと思う。</p>

3 今後の学校園の運営についての意見

学校はコロナ禍の中でも感染対策をしながら教育活動を行ってくれているので、よく頑張っているし、成果も出ていて評価できる。

今後もいじめのない学校づくりをして、子どもが安心して生活できるようにしてほしい。

体験的な学習は、コロナ禍で大変だったと思うが、中止や延期する活動もあったみたいだが、よく工夫して頑張れたと思う。

誌面協議で残念であったが、審議資料の解説や参考資料も付けられていたので、具体的にイメージできたので内容もよくわかってよかった。